

# 令和7年度 泗水小学校 保護者による教育評価 (第2回)の結果について

菊池市立泗水小学校  
校長 河野 圭一

<学校経営の基盤について>

1. 学校は、保護者や地域住民と協力しながら教育活動に取り組んでいる。



2. 学校は、子供の学力を向上させるために、「分かる・できる」授業を行っている。



3. 学校は、子どもがきまり（泗水っ子のちかい）を守り、よりよい生活ができるよう学校全体でそろえて指導を行っている。



4. 学校は、保護者からの相談等に対して迅速に対応している。



<道徳に関わる教育活動について>

5. わが子は、自分や他人、生き物等の命を大切にしている。



6. わが子は、きまり（泗水っ子のちかい）や約束を守って生活している。

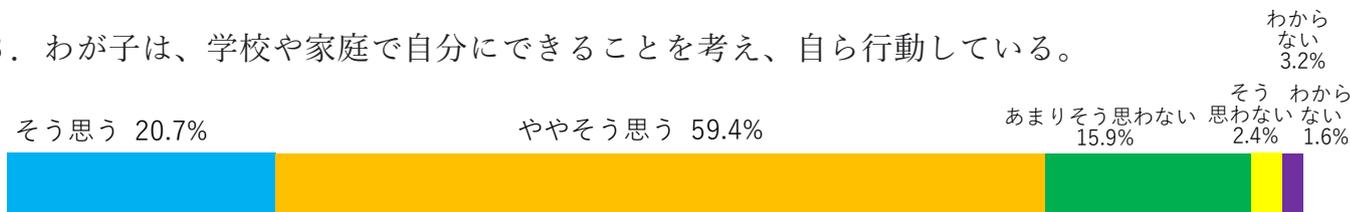


<「泗水っ子の宝」に関わる教育活動について>

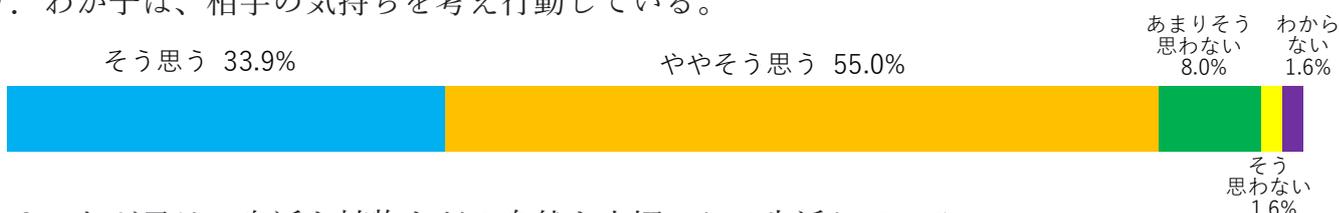
7. わが子は、節電、節水など環境にやさしい行動を心掛けている。



8. わが子は、学校や家庭で自分にできることを考え、自ら行動している。



9. わが子は、相手の気持ちを考え行動している。



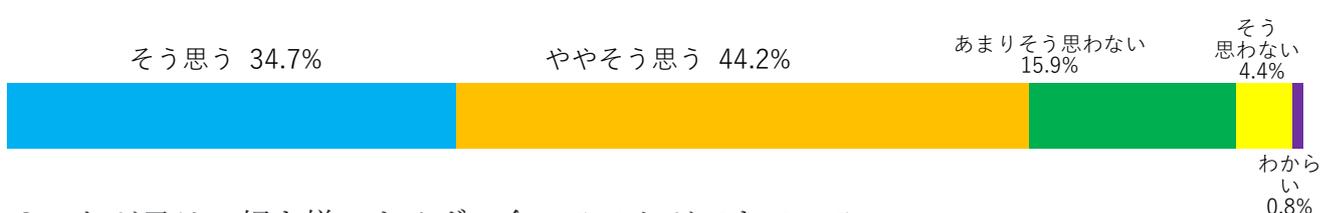
10. わが子は、身近な植物などの自然を大切に生活している。



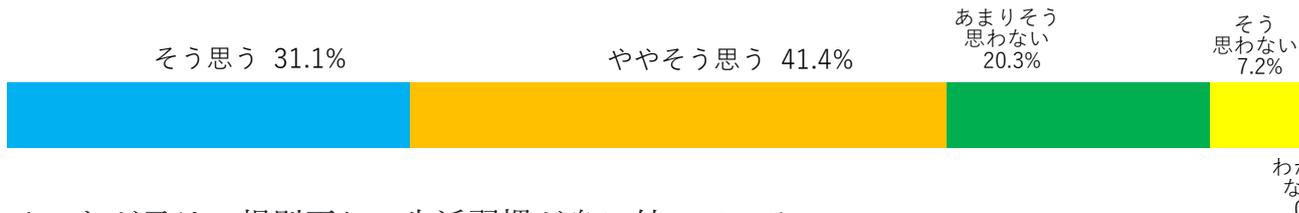
11. わが子は、家庭でのルールや交通ルールを守って生活している。



12. わが子は、外で遊んだり、運動したりして、体力向上に努めている。



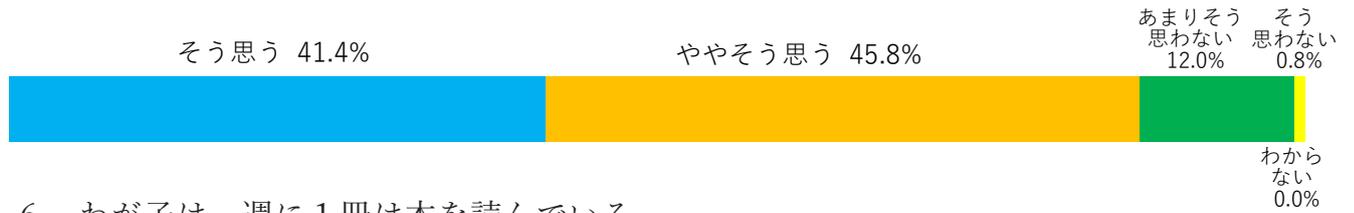
13. わが子は、好き嫌いをせずに食べることができている。



14. わが子は、規則正しい生活習慣が身に付いている。



15. わが子は、大事な話を静かに聞くことができる。



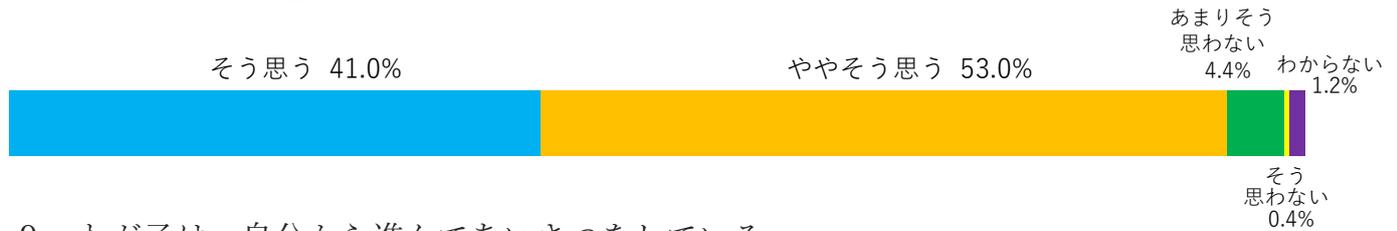
16. わが子は、週に1冊は本を読んでいる。



17. わが子は、忘れ物がないように、次の日の準備をしている。



18. わが子は、友達や家族など周りの人と協力することができる。



19. わが子は、自分から進んであいさつをしている。

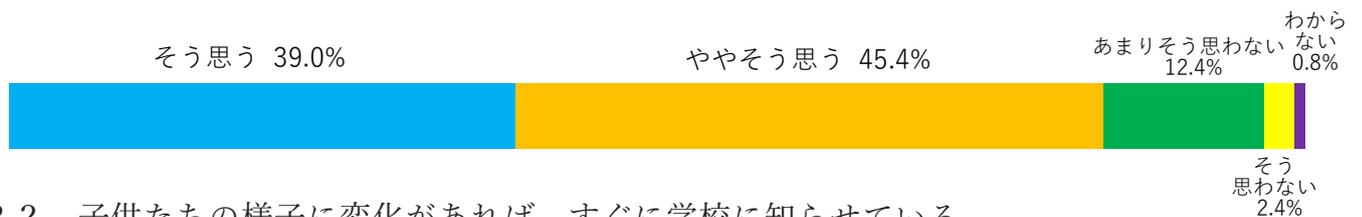


20. わが子は、帽子をかぶって登下校している。



<保護者自身に関することについて>

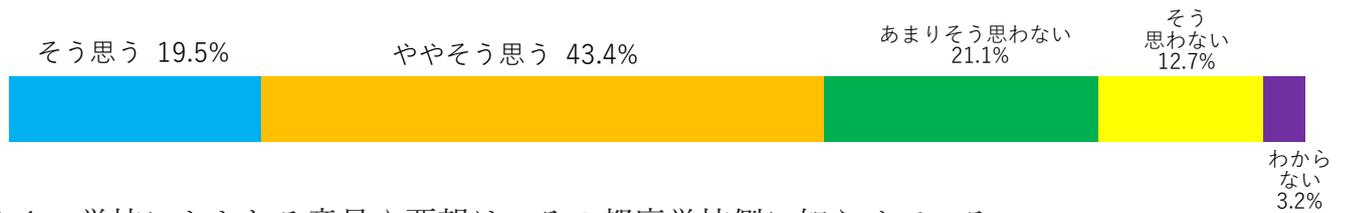
21. 学校の文書やホームページ、メールなどは、丁寧に読んでいる。



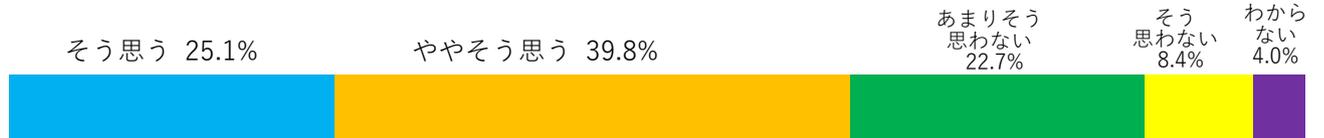
22. 子供たちの様子に変化があれば、すぐに学校に知らせている。



23. 地域の行事や活動によく参加している。



24. 学校にかかわる意見や要望は、その都度学校側に知らせている。

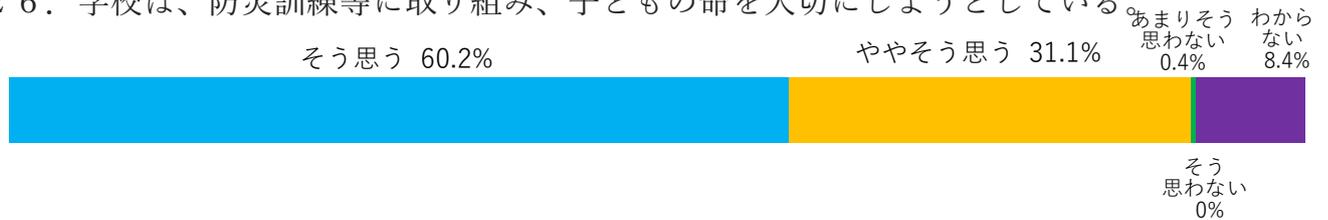


<その他について>

25. 学校は、きちんと掃除がなされており、いつもきれいである。



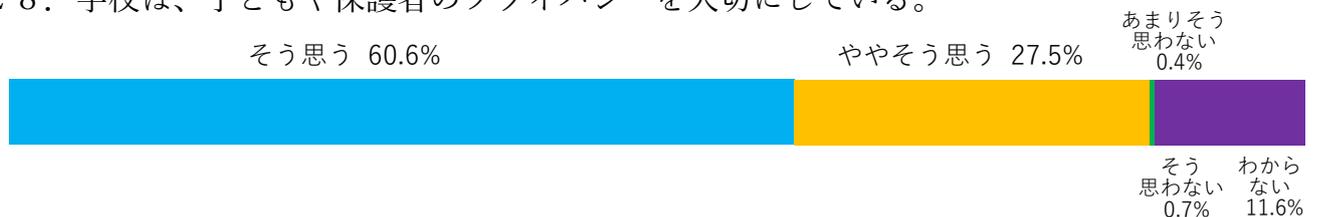
26. 学校は、防災訓練等に取り組み、子どもの命を大切にしようとしている。



27. 学校は、必要な経費を徴収し、適切に運用している。

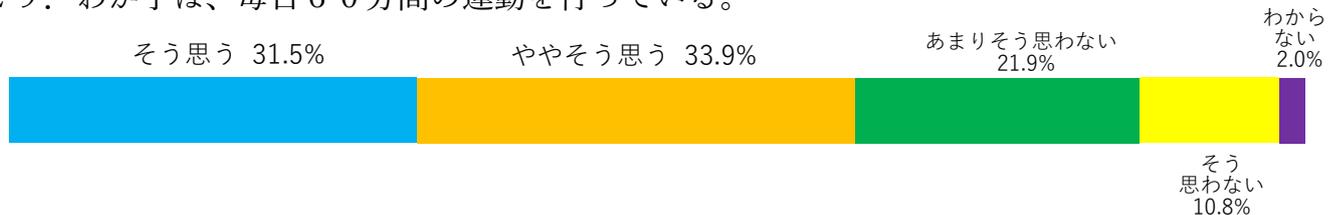


28. 学校は、子どもや保護者のプライバシーを大切にしている。



<「菊池っ子60運動」について>

29. わが子は、毎日60分間の運動を行っている。



30. わが子は、朝、家を出る60分前に起きている。



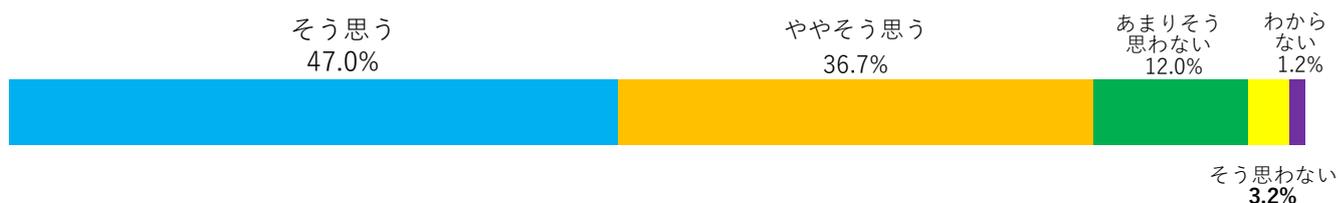
31. わが子は、就寝する60分前にスマホを保護者に預けている。



32. わが子は、スマホやゲームの使用時間「1日60分以内」を守れている。



33. わが子と1日に60分以上の会話をしている。



34. わが子は、(学年×10分+10分)を目安に家庭学習ができている。



★学校教育目標の達成のため学校、家庭、地域が協力できる取組等（自由記述）※一部抜粋

- 自分の力を信じ、切磋琢磨してもらいたいののでマラソン大会の再開を希望いたします。
- ご意見ありがとうございます。今後、マラソン大会を含め、子どもたちが互いに高め合える教育活動の充実に努めます。なお、実施に際しては、児童の健康管理や教育課程全体のバランスを十分に考慮する必要があります。そのため、再開の是非だけでなく、記録会形式などの代替案も含め、最適な形を慎重に検討してまいります。
- 学校と家庭で子どもの小さな成長や努力を共有できる機会を今後も大切にしたいと考えています。例えば、学校で頑張ったことを家庭で振り返る「1日のふりかえり」の時間を意識的につくり、子どもの頑張りを言葉にして認めることで、自分の力を信じて挑戦する気持ちを育てていきたいと思えます。また、学校からの連絡や学習内容を家庭でも確認し、同じ方向から声掛けができるよう心がけることで、目標に向かって努力する姿勢がより定着すると考えています。学校と家庭が協力しながら、子どもが自信をもって様々なことに取り組める環境を一緒につくっていきたいです。
- 温かいご提案ありがとうございます。自分の成長を自覚する「振り返り」は、自信を育み次への意欲につなげるための重要な過程です。本校でも授業の終末に振り返りを行い、自分の伸びを実感させる指導

を大切にしています。ご家庭で一日の頑張りを認め、学校と共通の視点で声掛けをしていただくことは、学校での学びをより確かなものにし、教育効果を一層高めることにつながります。今後も学校と家庭が手を携え、子どもたちが自分の力を信じて自信を持って取り組める環境を共に作っていただけると幸いです。

■論語を覚えて教えてくれるので、論語を身近な存在として感じてくれているので、この取り組みをぜひ続けて欲しいと思います。

➤ご意見ありがとうございます。お子様が家庭でも論語を披露するほど身近に感じていることを、大変嬉しく思います。本校の特色ある教育活動として、次年度も引き続き論語教育に取り組んでまいります。

■学級懇談会がなくなったのは、何か理由があるのでしょうか。参加する保護者が少ないのも原因かとは思いますが、先生と保護者同士のつながりが薄れていくのではと思います。先生方の負担軽減もあるのかもしれませんが、せっかくの機会なので、懇談会テーマも保護者が参加しやすいものと考えていただき工夫していただけたらと個人的には感じています。

➤ご意見ありがとうございます。連携が薄れることへのご不安はごもっともです。今後は、ご提案いただいた「参加しやすいテーマの設定」など、内容の工夫を検討いたします。一方的な伝達ではなく、保護者の皆様が「参加してよかった」と思える交流の場をいかに作るか、次年度の計画に生かしてまいります。

■初めての通知表で、先生からの所見欄がなく、家庭からのコメントのみだったため、何を書けばよいのか少し迷いました。初めての一年生ということもあり、親としては学校での様子が分からず、不安に感じることもあります。授業参観などの特別な場面ではなく、普段の授業中の様子や友達との関わりなど、日常の学校生活について、可能であれば一年生のうちだけでも先生からの所見があると、子どもの学校での様子が分かりやすく、安心でき、大変ありがたいです。

➤ご意見ありがとうございます。初めての通知表でお子様の学校生活が見えにくい点、ご不安にさせてしまい申し訳ございません。今後は、通知表に限らず個人面談や学年通信、学校ホームページ等を通じ、授業中の様子や友達との関わりをより丁寧にお伝えできるよう努めてまいります。

■12月に開催されたPTA家庭教育講演会、情報社会を生きていかなければならない子どもを育てる保護者として、とても勉強になる内容でした。だから思ったのですが、参加者が少ないこと残念に感じました。お仕事や事情があり、講演会参加が難しい方がいるのも理解しています。ただ保護者が何も学ばず、まだ善悪の判断がつかない子にスマホを持たせると言う事は、何かあった時に守れない可能性もあり危険だということ。(中略)子どもばかりでなく、親もスマホを見る時間を減らし、顔を見る時間を増やす事、そしてありがたいなどの基本的な挨拶を大切にしながら子どもの努力を認め、見守り、叱る時は本気で叱る、そして抱きしめるということが自己肯定感を向上させ、強い心を作っていくと信じ、喜怒哀楽を真剣にぶつけながら日々関わっています。いつも先生方には家庭では出来ない事を沢山経験させていただき感謝しています。

➤ご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、より多くの方に聴いていただきたいテーマですので、一人でも多くの保護者様にご参加いただけるよう、開催時間や周知方法の工夫、参加しやすい環境づくりを検討してまいります。

評価は今後の学校改善に生かしていきます。ご協力大変ありがとうございました。